

やまが Yamaga City council News

市議会だより

第49号
9月定例会

令和7年11月1日
発行／山鹿市議会



議会報告会

令和8年1月30日(金)

市役所501会議室

19:00~20:30

ほか市内7会場で順次開催！

《もくじ》

議会報告会	2
行政視察・委員会レポート	3~5
予算決算委員会	6~7
質疑・一般質問	8~12
議決結果	13
傍聴感想、議会の動き、編集後記	14

★議会報告会★

議員と語ろう



～市民が参画できる開かれた議会へ～

各委員会による行政視察などの報告を行い、市民の皆さまの様々なご意見を議員が直接伺います。だれでもどこでも何度でも参加できます。

山鹿の未来を議員と一緒にお話ししましょう！

令和8年 議会報告会会場

- 1** 1月30日(金) 19:00～
山鹿会場：市役所501会議室
- 2** 2月1日(日) 13:30～
鹿央会場：鹿央市民センター
- 3** 2月7日(土) 13:30～
菊鹿会場：内田構造改善センター
- 4** 2月8日(日) 13:30～
山鹿会場：平小城地区公民館
- 5** 2月14日(土) 13:30～
鹿本会場：鹿本ふれあいセンター
- 6** 2月15日(日) 13:30～
山鹿会場：八幡地区公民館
- 7** 2月21日(土) 13:30～
鹿北会場：椎持研修センター
- 8** 2月22日(日) 13:30～
山鹿会場：大道地区公民館

議会報告会プログラム

- 1** 開会
- 2** 議長挨拶
- 3** 議員自己紹介
- 4** 議会概要報告
- 5** 質疑応答
- 6** グループディスカッション
- 7** グループ報告
- 8** 閉会

合計90分

お問い合わせ：
山鹿市議会事務局
☎0968-43-1634

建設経済委員会行政視察

期間 令和7年7月30日～31日

視察先

- ① 栃木県佐野市
- ② 茨城県笠間市

① 栃木県佐野市 NCORE 株式会社

「農業を産業に、新たな農業スタイル」

旧閉馬小学校の廃校を活用し次世代農業を提案するNCORE(株)では、水耕栽培を用いてこれまでの常識を覆す低コスト生産、高収量で次世代型、無農薬野菜の量産工場を、実に10万回以上の実験を重ね、世界唯一の技術を確立されていた。この技術を活かしたレタスなどの野菜や果物生産のほか、サフランの栽培にも取り組まれており、土地の有効活用や極小エネルギーでの低コスト、高収穫率生産システムを実現された新しい農産業のスタイルを目の当たりにした。

② 茨城県笠間市 笠間市役所

「栗ブランドディングへの取り組み」

笠間市では農家への支援策として、積極的な改植、苗木補助、機械購入補助を行うことで生産意欲向上を図られている。販売支援においても行政職員によるパンフレット作成や営業のほか、近年はインフルエンサーマーケティングにも取り組んだことで、栗スイーツを求め多くの若い女性から支持を受けている。また各種イベントを通して新商品開発にも力を入れ、関東近郊において爆発的に認知度が上がっている。本市においても栽培支援に続きブランド化を推進することが、やまが和栗の更なる発展につながると確信した。

9/16 開催

建設経済委員会レポート

◎金光 一誠 ○古川 和博
芋生よしや 高橋 龍一 服部 香代
北原 和智

食のみやこ熊本県創造コンソーシアム推進事業

この事業は、地域の農林畜産物や地域資源を活用した生産者や食関連企業、行政等が一体となり3者以上で構成された団体を支援する事業である。事業実施主体は菊鹿ワインコンソーシアムで、熊本ワインファーム(株)、菊鹿町葡萄生産振興会、山鹿市の3者で構成され、ワイン用ブドウの更なる高付加価値化を目的に、菊鹿ワインのブランド化を図るとともに、ワイン製造過程で出る搾りかすを再利用して作る蒸留酒「グラッパ」の新開発を行う。

総事業費6,997万9,400円、県からの補助金3,173万9千円、残りは自己資金となり熊本ワインファームが全額負担する。

現地調査



食のみやこ熊本県創造コンソーシアム推進事業

【その他 主な審査事項】

- 令和7年度「山鹿市工業団地整備事業」特別会計補正予算
- 令和6年度 水道事業会計決算
- 令和6年度 下水道事業会計決算
- 令和6年度 農業集落排水事業会計決算

市民福祉委員会行政視察

期間 令和7年7月2日～4日

視察先

- ① 東京都国分寺市
- ② 神奈川県川崎市
- ③ 東京都狛江市

① 東京都国分寺市

「中学3年生までの学童保育受け入れについて」

公設17施設、民設12施設が学童保育を運営。現在、障がい児101人のうち、中学生障がい児10人が学童保育を利用しており、東京都独自の補助金で対応している。中学生障がい児の受け入れは、放課後児童健全育成事業とは異なる枠組みで、スペースや補助金についても別に検討する必要がある。本市としても要望があるため、8月19日に執行部と意見交換を行った。

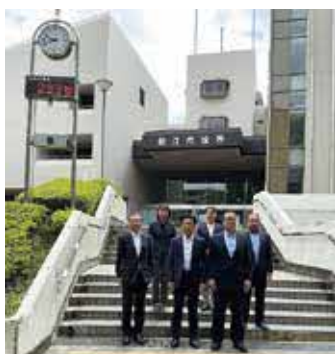
② 神奈川県川崎市 日本理化学工業(株)

「障がい者雇用について」

全体の7割の社員に知的障がいがあり、雇用のきっかけは、働いて人の役に立つことが自身を幸せにする、皆働社会の実現を目指すことだった。知的障がい者の方がいきいきと誇りをもって仕事をされているのがとても印象的で、本市においても官民一体となって取り組んでいけるよう考えていきたい。



国分寺市



狛江市

市民医療センターの現状は

問 入院患者数4万6,910人。外来患者数4万4,147人。入院は前年度比約17%増と大きく伸び、外来は6%減少。入院増と外来減をどう分析するか

答 入院は医師数を増員。麻酔科医と小児科医が増え、今年度は泌尿器科医と眼科医がふえている。医療機関の連携及び役割分担を図るため外来患者は周囲のかかりつけ医に積極的に患者をお返しし、専門性の高い外来を増やしている。

現地調査



市民医療センター旧棟



将来を背負う分野として、緩和ケア病棟は県北の公立病院では本市のみ。患者数が年々増え、ニーズは高いが、老朽化に加え受け皿として現状スペースが狭くなっている。また、健診部門も手狭になっている現状を視察した。

【その他 主な審査事項】

- 令和7年度介護保険事業特別会計補正予算
- 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定 他認定2件

9/17 開催

市民福祉委員会レポート

◎限部 賢治 ○山下 誠治 小川 榮二
豊田新二郎 小林 文江 高松 佳美

総務文教委員会行政視察

期 令和7年7月28日～29日

視察先

宮崎県都城市

「人口減少対策について」

都城市では、保育料の無料化や移住支援策を柱とする独自の人口減少対策を展開し、令和4年度以降、13年ぶりに人口増加を記録している。中でも「移住応援給付金制度」は、全国からの移住者に最大500万円を支給するもので、転入条件や申請要件も明確に設定されている。財源としては、ふるさと納税や地方創生交付金、国・県の補助金などを活用している。



加えて、若年層の地元定着を促すため、「奨学金返還支援制度」も導入。市内企業に正規雇用された若者に対し、年間最大12万円を補助する制度で、令和7年度からは他市出身者も対象に加えられた。支援対象者は令和7年度で50名程度が見込まれている。

都城市立図書館・子育て支援施設の視察

都城市立図書館と周辺の子育て支援施設を視察し、都市機能と市民サービスが一体となった空間づくりに強い印象を受けた。館長・井上氏からは、地域との協働体制や持続可能な運営方針について丁寧な説明があり、市全体で若者を支える姿勢が感じられた。

また、計画から開

館までのスピード感

や、市民の声を反映

した柔軟な設計が、

利用者の高い満足度

につながっていると

実感した。



9/18 開催

総務文教委員会レポート

◎松見 真一 ○原 芳郎 永田 紘二 勢田 昭一
永田 壮拓 古家 茂臣 工藤彩友美

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車取得

消防本部より購入に関し説明があり、耐用年数、金額等審査のうえ承認可決した。取得金額7,942万円



配置予定先の東分署（鹿本町津袋）：管轄は菊鹿・鹿本地域



導入予定の消防ポンプ自動車（イメージ図）

【その他 主な審査事項】

- 職員の育児休業等に関する条例等の一部改正
- 附属機関連設置条例の一部改正

委員会報告

建設経済分科会

山鹿市水道事業料金改定の効果は

問 昨年度、水道料金が改定されたが値上げによる効果は

答 令和6年度の決算において、純利益3,045万7,874円を確保することができた。料金改定により水道事業の財政体質の改善と更新財源の確保が進んだことにより、今後は安定的な供給などのサービス向上を図ることとしており、老朽管の更新についても今年度2,150mの管路更新を予定している。



市民福祉分科会

地域医療提供体制充実事業とは

問 この事業の目的は

答 将来的に山鹿市内の医療機関や福祉施設等で働く看護師を育成・確保し、修学に必要な資金を貸与することで、地域の医療人材の確保と市民の健康維持・増進を図る。

問 どれくらいの資金が貸与されるのか。総額の内訳は

答 総額約2,000万円を積算、今後約7年間で21名の利用を見込み、年間3名を想定、看護師13名、准看護師8名を対象に、1人あたり最大192万円（4年間）を貸与予定。

問 貸与された資金の返済義務は

答 養成学校卒業後、1年3ヶ月以内に山鹿市内の医療機関等で勤務を開始し、貸与期間の1・5倍の期間勤務した場合は、返済が免除。退学や市外への就職の場合は、全額返還となる。

問 就職先の条件やこれまでの利用状況は

答 山鹿市内の医療機関や介護老人保健施設、介護老人福祉施設、訪問看護ステーション、児童福祉施設、障害者支援施設など看護師が勤務できる場所が対象。

平成27年度から31名が利用。現在14名が市内で勤務しており、未返済者はいない。



予算決算

総務文教分科会

体育施設の利用促進について

問 市民球場のスコアボード電光表示部制御システム故障に係る改修工事は現行の仕様のままか

答 現行の制御盤機能の不具合改修工事のみである。

問 年間の利用状況は

答 利用状況は年間1万5,218人、件数213件の利用。213件の内訳は市内利用9件、市外利用204件。

問 ほかの施設の利便性向上はどうか

答 DX推進による予約システムのオンライン化等利用者のニーズにあわせて検討していく。さらに空調施設整備やトイレの洋式化、グラウンドナイター施設のLED化などが必要だと考える。



予算決算委員会からの意見・要望

①予備費から流用し支出している約1,500万円のうち、市税の過誤納金還付として充用した約970万円について、原因が生じた際、議会に対して説明する機会を確保すべきである。

②定員に満たない市立幼稚園、保育園については、より一層魅力ある運営方法の改善への取り組みが必要である。

③執行率の低い予算・事業については、成果やニーズを検証した上での計上及び執行に努めてほしい。





一般質問

市議会だよりでは、紙面の都合上、1人1問の質問と答弁を要約して掲載しています。

◆ 市政のここが聞きたい ◆

一般質問とは議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。
9月定例会の一般質問は、9月9日、10日の両日にわたり、9名の議員が行いました。

※二次元バーコードからYouTubeでの録画配信をご覧ください。

質問議員	質問趣旨	掲載	質問議員	質問趣旨	掲載
高松 佳美	授乳、搾乳についての理解と、搾乳室設置の方向性は	P8	勢田 昭一	「やまが和栗」今後の戦略目標は	P11
芋生よしや	男女共同参画視点で避難所改善は	P9	高橋 龍一	三玉地区公民館の老朽化への対応は	P11
服部 香代	働き方改革やDX化の先に、市役所開庁時間短縮の可能性はあるか	P9	古家 茂臣	厳しい財政状況の対応策は	P12
古川 和博	運転免許自主返納支援ワンストップ化へ	P10	永田 紘二	令和6年度決算分析、職員配置及び財源確保は	P12
金光 一誠	農林業への支援策をどう考える	P10			

問 授乳、搾乳についての理解と、搾乳室設置の方向性は

答 子育て支援センターに設置し周知・啓発を行う

たかまつ よしみ
高松 佳美 議員
(公明党)



① 福祉部長
市役所本庁舎を始め、各市民センターや社会体育施設など主要25施設を調査。うち8施設に設置済。残り17施設

を伺う
② 出産や子育て支援充実のため、必要な方が搾乳できる環境づくりについて、理解と今後の搾乳室設置の方向性を伺う

問 ① 女性が出産後安心して社会参画ができ、健康に活動するため社会全体が出産後の健康管理について正しく理解し、公共施設や職場、商業施設において安心して授乳・搾乳ができる環境を整えることが重要だと考える。現在の本市の授乳室設置状況を伺う

に授乳室はないが、要望があれば別室を案内できるよう対応。職員には授乳室を利用する方への配慮等について教育・啓発を図っていく。
② 子育て支援センターに、パーテーションを設置し利用スペースを確保する。適切な環境を提供できるよう、授乳室で「搾乳ができる」表示を追加、整備・充実に努める。広く市民に周知する方法として、公共施設については、やまがメイトや市のホームページを活用する。

その他の質問

- ・ 公共施設のオンライン予約システムとWi-Fiの整備状況について
- ・ 災害時の情報共有と、トイレ問題について
- ・ 予防医療の推進について



問 男女共同参画視点で避難所改善は

答 女性1名配置、マニュアル改訂も予定

いもう
芋生 よしや 議員
(日本共産党)



過去の議会でも質問

平成29年9月、令和2年9月、
令和4年9月



その他の質問

- ・加齢性難聴者への補聴器購入補助について

問 これまで避難所の運営・改善を求め、環境充実に努めていくとの答弁であったが、安心して過ごしてもらえよう様々な状況に応じ、男女共同参画視点を入れての運営・設備の改善。避難者や避難所スタッフの意見を取り入れた、避難所運営マニュアルの改善は進んでいるのか。

答 総務部長

運営班職員3名に可能な限り女性職員1名を配置、女性ならではの視点で気配りや対応に努めている。内閣府が定めた「避難生活における良好な生活環境

の確保に向けた取組指針」に基づき、令和7年3月に備蓄計画を改定。パーテーションや簡易ベッドなどの計画的導入で、環境改善に取り組んでいる。

「周りの目が気になる」や「ゆっくり横になって休みたい」などの意見を踏まえ、スタッフによる市民への声掛けや避難所内の見回りなど、避難所環境の改善にも取組んでいる。令和4年4月以降行っていないなかった運営マニュアルも「避難所運営に係るチェックリスト」を用いて点検し改訂を予定している。

問 働き方改革やDX化の先に、市役所開庁時間短縮の可能性はあるか

答 市民の利便性を重視し研究していく

はっとり かよ
服部 香代 議員



問 市職員は10年間で91人削減しているが、事業数はほぼ変わらず負担感が増し、市民サービスの低下が危惧される。DX化や業務見直しにより職員の働き方改革を進めるべき。コンビニ交付や「やまがメイト」、オンライン申請の拡充など、市民サービスのデジタル化は着実に進展している。こうした流れの中で、窓口業務の在り方を再考すべき時期に来ているのではないか。令和6年度の残業時間は約39,000時間、残業手当は8,240万円に上り、財政的にも看過できない状況である。開庁時間を短縮することで勤務時間の再構成や業務効率化が進み、残業の発生要因そのものを減らすことが可能となる。さらに、業務改革により生まれた時間を職員の研修や政策立案、業務改善に充てることで、市民サービスの質の向上にも

つながると期待される。開庁（窓口など）時間短縮について検討される可能性はあるか。

答 総務部長

本市の窓口業務は午後5時15分までで、終業間際に来庁された場合、手続き内容によっては、そこから1時間以上を要する場合がある。窓口業務時間を短縮すれば、残業時間や手当の削減が期待できるが、市民の利便性との両立が課題である。現在、具体的な検討には至っていないが、関係所管と連携しながら実施の可能性を研究していく。

その他の質問

- ・職員の働き方改革について
- ・経常収支比率から見る財政状況について

問 運転免許自主返納支援ワンストップ化へ

答 窓口一本化を目指し、返納者の利便性向上を図りたい

過去の議会でも質問
令和6年9月

ふるかわ かずひろ
古川 和博 議員
(清風やまが)



問 高齢者の交通事故は、社会的課題であるが、地方にあっては、「生活の足」であり返納が進みにくい現状である。本市の運転免許証取得者、34,184名のうち、65歳以上は、12,944名、37・9%の状況である。昨年4月から返納支援事業として「商品券2,000円」の交付が始まっているものの手続き上、申請者に不便な点が見られるため、過去の返納実績及び申請手続きの一本化について問う。

答 総務部長
運転免許証自主返納者は、令和5年131名・令和6年161名の支援事業の申請者は、初年度139名。内訳は、本人申請104名。代理申請35名。今後の返納支援啓発活動としてやまがメイトやホームページ等により自主返納を促し、山鹿警察署で「運転免許取消通知」取得後に、市役所本庁にて「支援申請」を行っている手続きの一本化に向け、山鹿警察署と協議を進めて行きたい。

その他の質問

- ・次世代につなぐ持続可能な農業について
- ・下水汚泥肥料の利活用の取組について
- ・県河川除草作業への対応について

問 農林業への支援策をどう考える

答 支援策を研究する

かなみつ いっせい
金光 一誠 議員



問 資源循環型農業を押し進めるため、液肥供給施設が建設され、家畜のし尿が液肥として製造、農地に還元されてきた。3施設とも、解体・撤去され、その役割が終了し、今は跡形もなく、畜産農家が各自でし尿の処分を行い、農家負担がふえている。堆肥の製造には、オガ粉が使用され市内での製造量は、市内畜産農家の使用量には満たず、他市町から価格の高い材料を購入しているのが実情で、農家の負担は増すばかりである。

答 農林部長
持続可能な循環型農業を継続していくためには、オガ粉は堆肥づくりに欠かせない重要な役割を果たしている。これまでも、畜産農家に対して飼料高騰対策事業により約6,300万円を補助しており、他の生産者との公平性や公益性を考慮する必要がある、全体的なバランスを見て支援策を研究する。

その他の質問

- ・農林業の被害状況、農業の現状、特産林産物の支援策、機械購入の支援策、農林業の課題と対策



問「やまが和栗」今後の戦略目標は

答「日本一、和栗で稼げる山鹿市」を！！

せいだ しょういち
勢田 昭一 議員



過去の議会でも質問

令和6年9月「スーパー中山間地事業（ワインと和栗）」について



収穫前の「やまが和栗」 菊鹿町にて

その他の質問

- ・障害者支援の施策（小学生から社会人まで）について
くつなぐ視点で>

答農林部長

やまが和栗振興協議会では、将来の目指す姿を「日本一、和栗で稼げる山鹿市」と掲げ

問西日本一生産量を誇る「やまが和栗」最近、マスコミ等で頻繁に話題に上がっていて、そのPR力はすごいと感じている（特に県立大生・鹿本農高生・鹿北中学生）。そこで、これだけの「生産力」「PR力」をどう築いてきたのか。その成果と課題を伺ったが、今後の戦略目標はどうなっているのか。

答農林部長
「やまが和栗」を地域振興につなげていきたいと考えている。

答農林部長
等々の観光業に關わる方々、物産館等で土産品の販売に關わる方々、そして栗を栽培する生産者の方々が「和栗」で収益を上げることで、最大の目標と考えている。さらに、次世代を担う山鹿市の子どもたちが和栗について学び、地域への愛着と理解を育む「栗育」にも力を入れて取り組む予定である。これらの取り組みを通じて、



問三玉地区公民館の老朽化への対応は

答 公民館運営に支障がないように適切に対応する

たかはし りゅういち
高橋 龍一 議員



その他の質問

- ・令和6年度決算について

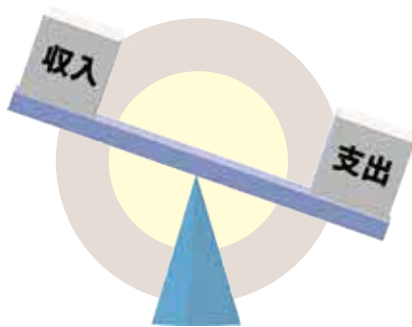
問地域住民にとって重要な役割を持つ地区公民館について、築45年を経過しているところもあり、雨漏りがひどく経年劣化が激しい。三玉地区公民館を例にあげると、再三、劣化の状況を報告し、補修の依頼をしているが一向に改善されない。今後の維持管理の方針について尋ねる。

答教育部長
本市の地区公民館の中でも山鹿地域の施設は築後40年以上経過している建物が多く、経年劣化による雨漏りやひび割れ等の老朽化が進んでいる。そのような状況を踏まえ、直近では米田地区公民館と八幡地区公民館の改修工事を実施した。ご指摘のように対応できていないところもあるので、公民館活動に支障がないように適切な対応を図っていく。

問 厳しい財政状況の対応策は

答 策定する総合計画の中で歳入歳出を議論する

ふるい え しげお み
古家 茂臣 議員



その他の質問

- 組織の改編について
(総合戦略課、企業誘致課)

問 自治体の財政状況を
示す指標として財政力
指数があるが、本市は
0・34と県内14市の中
で下から3番目と厳し
い状況にある。余裕あ
る財政運営が困難で、
今後の予算執行にも支
障がでると危惧される。
厳しい財政状況を考え
れば、事業の見直しに
よる経費削減、また、
ふるさと納税等新たな
税収確保等、財政健全
化対策を全庁あげて取
り組む必要があると思
われるが、今後の対策
はあるか。

答 総務部長
本市の財政指標につ
いて、財政力指数は近
年0・33～0・34、経
常収支比率は99%前後
で推移している傾向に
あり、ご指摘のとおり
財政運営が硬直化して
いる状況。
財政指標についても、
今後策定する総合計画
において市の将来構想
を設計する中で産業構
造の変化や歳入確保、
人件費や公共施設の在
り方等、事業の「選
択」と「集中」につい
て徹底的に議論してい
くことで持続可能な財
政構造が構築されるも
のと考えている。

問 令和6年度決算分析、職員配置及び財源確保は

答 財政運営改善に対する取組を進める

ながた こうじ
永田 紘二 議員



問 ①令和6年度決算に
おける経常収支比率及
び歳出分析について。
②会計年度任用職員の
雇用について。
③ふるさと納税の今後
の戦略について問う。

答①②総務部長

令和6年度の経常収
支比率は99・0%で、
会計年度任用職員、一
般職員給与及び退職金
の増加の影響により人
件費は前年度比13・
0%の増加。会計年度
任用職員は、新規事業
に伴うものに限定し、
一般事務の単純な増員
は原則認めていない。

答③商工観光部長

今後、ふるさと納税
の更なる増加を目指す
ために、まずは返礼品
提供事業者の拡充を進
め、本市独自の返礼品
の創出にも注力してい
く考えである。寄附を
通じた本市の魅力向上
を図り、寄附金額の増
加にも努めていく。

予算要求時期には、ヒ
アリングを実施し、真
に必要な部署に
配置し、人事異動等で
対応できるところは対
応するなどして総雇用
数の抑制に取り組んで
いる。

令和7年(第4回)9月定例議会における審議結果表

全会一致で原案可決等された議案

条例	山鹿市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例	決算	令和6年度六郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	山鹿市附属機関設置条例の一部を改正する条例		令和6年度城北財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
補正予算	令和7年度山鹿市一般会計補正予算(第2号)		令和6年度稲田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和7年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		令和6年度山鹿市水道事業会計決算の認定について
	令和7年度山鹿市工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)		令和6年度山鹿市病院事業会計決算の認定について
議案	財産の取得について(災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車)		令和6年度山鹿市下水道事業会計決算の認定について
			令和6年度山鹿市農業集落排水事業会計決算の認定について

賛否が分かれた議案

議長は採決に加わりません
○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
議員氏名		工藤彩友美	北原和智	高松佳美	小林文江	古家茂臣	永田壮弘	原芳郎	隈部賢治	高橋龍一	豊田新二郎	山下誠治	古川和博	金光一誠	松見真一	小川榮二	芋生よしや	勢田昭一	有働辰喜	服部香代	永田紘二
件名	和6年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	令和6年度山鹿市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議	●	●
	令和6年度山鹿市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	長	●	●
	令和6年度山鹿市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

反対討論

芋生 よしや

●一般会計歳入歳出決算

令和6年度人口47,756人となり、危機感がある。財政調整基金は約54億円で、市民のくらしを応援できる財政はある。福祉の増進を図る自治体の役割を果たし、「選ばれるやまが」を進めていくべき。マイナンバーカード交付事業を含む、戸籍住民基本台帳費1億1,271万8千円は、保険証の廃止以降、医療機関窓口で保険情報を確認する“証明書”が、9種類も混在することとなり、事務効率化どころか、より煩雑となるため反対。

●国民健康保険事業特別会計決算

長期の物価高騰で、市民生活への影響が生じている。保険税負担抑制のため、強い姿勢で国に財政支出を働きかけること。国の方針に関わらず、国保会計を守る観点から、一般会計からの繰入れを行うよう求め反対。

●後期高齢者医療特別会計決算

市は、医療費適正化と健康寿命の延伸を述べているが、高齢者の生活の厳しさは増すばかり。受診控え、食費の切り詰めまで行っている。高齢者を年齢で差別する医療制度そのものに反対。

●介護保険事業特別会計決算

高齢化率が上がる中、要介護認定者数は増加し介護サービスは求められる一方、介護施設の職員不足が課題となりサービスの影響が出ている。保険あって介護なしの厳しい現状は改善されていない。保険料・利用料の負担軽減を求め反対。

議会の主な動き

7月

2日(水) 市民福祉委員会行政視察(～4日)
14日(月) 行政視察受け入れ(熊本県人吉市)
15日(火) 全員協議会
23日(水) 熊本県北市議会連絡協議会(山鹿市)
24日(木) 行政視察受け入れ(千葉県八街市)
25日(金) 百歳到達者表敬訪問
28日(月) 総務文教委員会行政視察(～29日)
29日(火) 熊本県知事への要望活動
30日(水) 建設経済委員会行政視察(～31日)

8月

4日(月) 国道3号植木バイパス建設促進期成会
要望活動(福岡市)
22日(金) 広報広聴委員会行政視察
26日(火) 議会運営委員会
27日(水) 全国市議会議長会研究フォーラム(～28日)

9月

2日(火) 9月定例会開会・全員協議会
9日(火) 9月定例会質疑・一般質問
10日(水) 9月定例会質疑・一般質問・委員会付託
11日(木) 予算決算委員会
16日(火) 建設経済委員会
17日(水) 市民福祉委員会
18日(木) 総務文教委員会
22日(月) 予算決算委員会
25日(木) 議会運営委員会
26日(金) 9月定例会閉会・全員協議会
広報広聴委員会
29日(月) 国道3号植木バイパス早期実現期成会総会

議会を

check!

9月定例会

傍聴席からこんな声をいただきました。
今回はその中の一部をご紹介します、
貴重なご意見ありがとうございました。

初めて傍聴しました、山鹿市の現状が少しだけ分かってきました。これからもよろしくお願いします。

(鹿本 60代)

初めてでしたが楽しかったです。また来たいと思います。

(菊鹿 30代)

一般質問開始から3人連続女性議員、いずれも生活に根差した女性らしい質問で新鮮な気持ちで聞きました。財政については「ふるさと納税」頼みで良いのか疑問を持ちましたが、自分でも考えてみたいと思いました。

(山鹿 70代)

議会を後日動画配信で見たことはありましたが実際に初めて傍聴しました。議員側が市の監視役として市政のPDCAサイクルを回してほしいです。また、議員や他の市民と議論する機会があればと思います。

(50代)

議会傍聴は勉強になります。「市議会だより」では分からないことが学べますし、議員の皆様それぞれの考えもわかり、次回の選挙への参考にもなりました。できるだけ毎回参加したいです。

(鹿北 70代)

今回の定例会は11月25日(火)開会の予定です。

(都合により変更となることがあります。)

11/25(火) 開会日

12/2(火)・12/3(水) 質疑・一般質問

12/4(木) 予算決算委員会 12/8(月) 建設経済委員会

12/9(火) 市民福祉委員会 12/10(火) 総務文教委員会

12/12(金) 予算決算委員会 12/16(火) 議会運営委員会

12/17(水) 閉会日



訂正とお詫び

「議会だより第48号」(令和7年9月1日発行)2ページのまちなかブランドデザイン事業の記事に誤りがありました。

誤) 2億3336万円

正) 2,033万6千円

訂正してお詫び申し上げます。

また、新人議員としての活動も、早いもので半年が経過しました。今後も、議会をより身近に感じていただき、「明るい未来のやま」をお届けできるよう、努力を重ねてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

広報広聴委員会 高松 佳美

編集後記

猛暑の夏から秋へと移り変わる中、熊本では豪雨災害に見舞われ、多くの地域で甚大な被害が発生しました。被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

昨今の大雨は、予想を超える雨量を記録し、下水道や水路の排水が追いつかず、内水氾濫が多く見られるようになってきました。想定外の災害への対応については、今後、新たな視点で見直していく必要があると、改めて考えさせられました。

さて、9月定例会では、令和6年度決算の認定が行われました。財政の健全性や行政の効率性を評価する重要な手続きであり、議会では、各委員会での審査を経て、しっかりと精査させていただきました。限られた財源の中で、地域経済の活性化に向けた取り組みは、今後ますます重要になってまいります。市民の皆さまの声をしっかりと受け止め、より良い政策の実現に向けて、引き続き努力してまいります。